

サービスガイド

くらしサポート歩行車 スムーディ 〈室内用〉

このサービスガイドは修理技術者を対象とした技術資料です。
保証書は必ず所定事項を記入の上、お客様にお渡しください。



品番

PN-L70201

品名

くらしサポート歩行車 スムーディ
〈室内用〉

発売年月

2023 年 8 月

技術サービス区分

出張

- 修理前にこのサービスガイドを必ずお読みのうえ、正しく修理してください。
- このサービスガイドに記載されていない方法で修理し、それが原因で事故や故障が生じた場合は、保証を致しかねますのでご注意ください。
- 本機の外観、仕様、使用部品は性能向上、その他の理由により予告なく変更することがあります。
- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の内容を当社に無断で複製、転用およびネットワークで配布することなどを禁止します。

もくじ

安全上のご注意	2
仕様	3
部品展開図	4
部品表	5
使用工具・道具一覧	6
分解・組み立て方法	7
ブレーキの調整方法	20
修理完了検査項目	21

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

※お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

転倒、破損、けが
などを防ぐために



- 本誌に明記されている箇所以外の分解・修理・改造は行わない
(故障、破損によるけがの原因)
- ストーブなどの火気類に製品を近づけない
(火災や変色・変形の原因)



- 分解・修理は安定した作業台などで行う
(思わぬ事故、けがの原因)
- 部品交換の際、必ず純正部品を使用する
(事故、けがの原因)

注意

転倒、破損、けが
などを防ぐために



- ボルト・ナット締めにはサイズの合わない工具を使用したり、乱暴に締めつけたりしない
(ボルト・ナットの頭などのバリ(突起)によるけがの原因)
- 本体を壁などに立てかけない
(事故、けがの原因)
- 部品交換の際は、使用済みのねじ、ボルト、ナットを再使用しない
(事故、けがの原因)
- フレームに変形、破損がある場合は使用しない
(事故、けがの原因)
- 洗浄する際は、塩素系洗剤、シンナー、クレゾール、アルコールは使用しない
(樹脂部品劣化の原因)



- 運搬や分解・修理中には必ず手袋をはめて作業する
- 分解・修理後は、本誌の「修理完了検査項目」を確認する
(故障、破損、事故、けがの原因)
- すき間に手指などを挟まないように注意する
(事故、けがの原因)

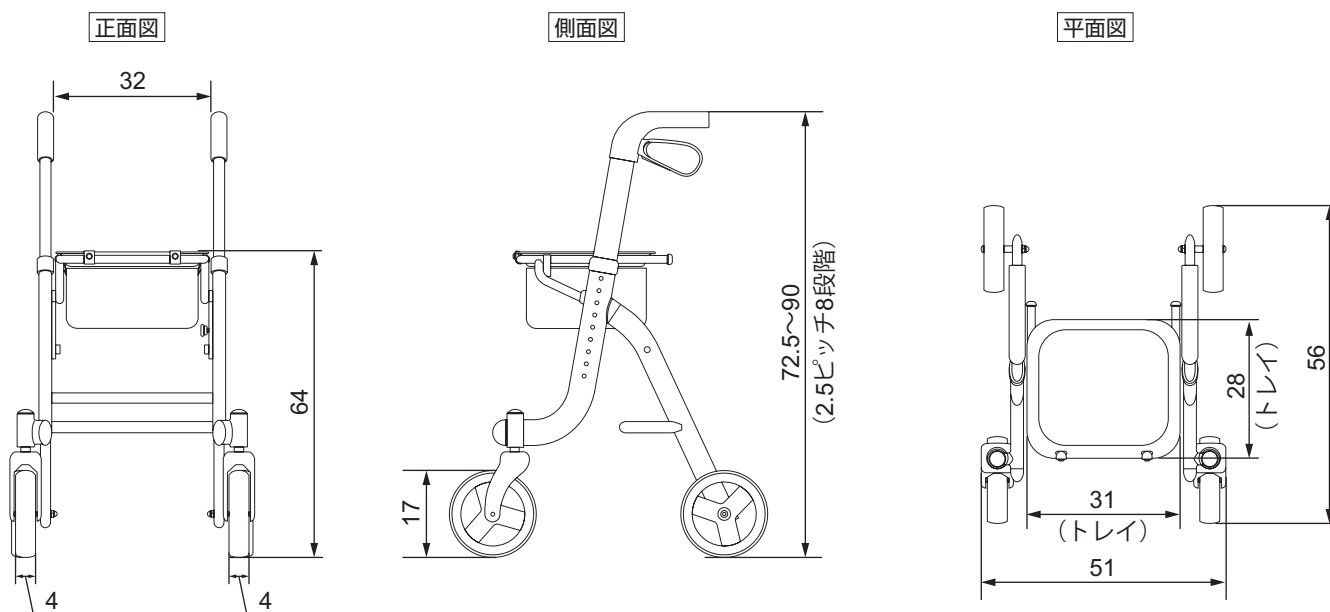
お願い

- 高圧洗浄機などを使用されると傷が付くおそれがあります。
中性洗剤などを含ませた柔らかいスポンジなどで軽くこすってください。
- ハンドルの調節が固い場合や、ブレーキ操作が固い場合は、潤滑剤(シリコンスプレー無溶剤)を使用してください。(上記以外の潤滑剤を使用すると樹脂部品劣化の原因)

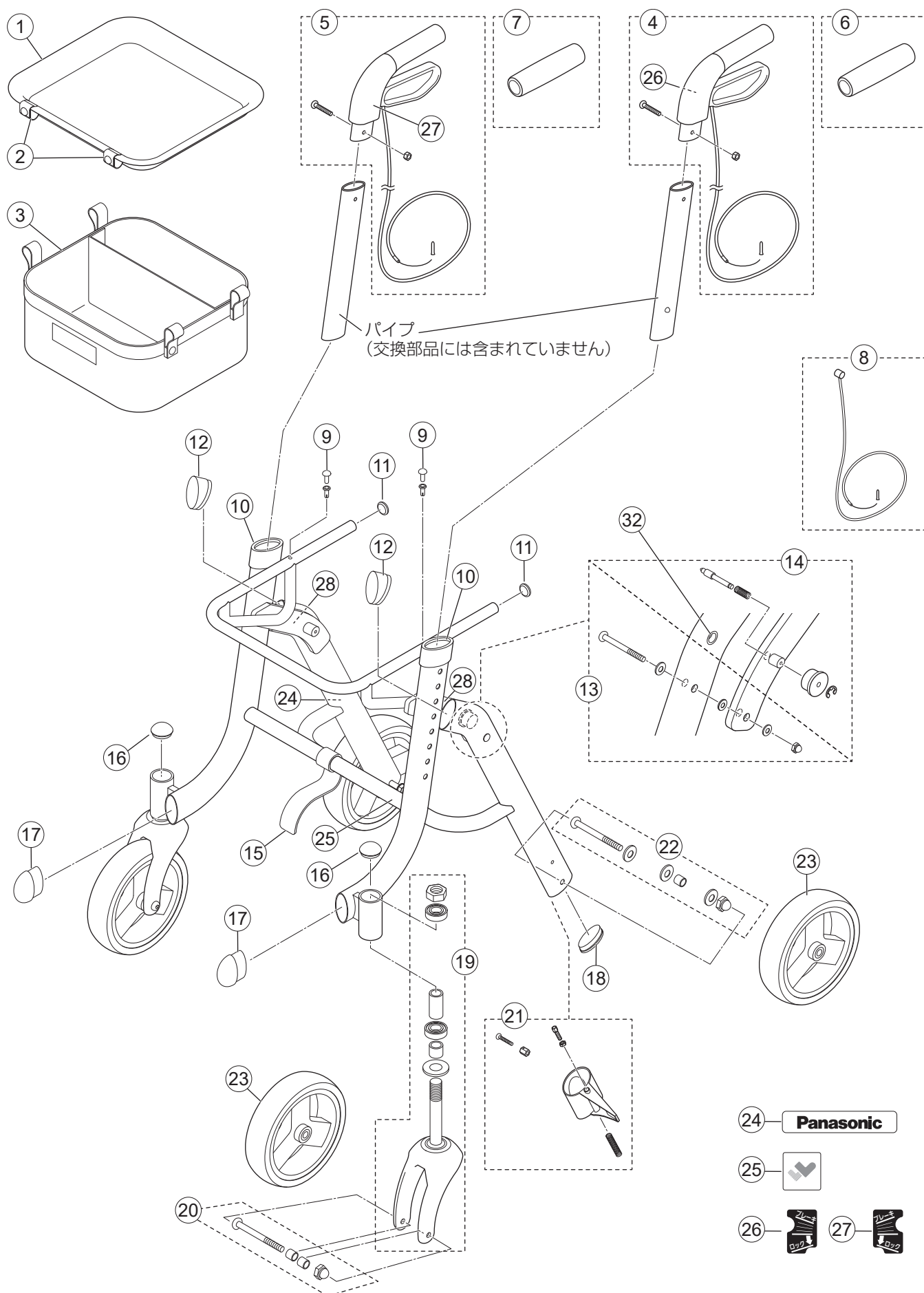
仕様

製品名	くらしサポート歩行車 スムーディ 〈室内用〉	
製品品番	PN-L70201	
重量	5.7 kg	
サイズ	組み立て寸法	幅 51 × 奥行 56 × 高さ 72.5 ~ 90
	折りたたみ寸法	幅 51 × 奥行 39 × 高さ 77
	グリップ高さ	72.5 ~ 90 (2.5 ピッチ 8 段階)
	トレイ高さ	64
	バスケット容量	7 L
材質	フレーム	アルミニウム
	トレイ	ABS
	バスケット	ナイロン
	タイヤ	EVA
	グリップ	PVC
最大使用者体重	100 kg	
トレイ・バスケットの積載荷重	トレイ : 3 kg / バスケット : 5 kg	

商品寸法図



部品展開図



※前輪軸、後輪軸の展開図は左右対称です。

部品表

この価格に表示されている表示価格は消費税抜きです。

図面 番号	品名	ご注文品番	箱入数	希望小売価格 (税抜)	摘要・備考	1台 個数
1	トレイ	PN-L7020101P	1	3,220		1
2	トレイ締結バンドセット	PN-L7020102P	2	1,040	L/R共通	2
3	バスケット	PN-L7020103P	1	2,880		1
4	ハンドルユニット(L)	PN-L7020104P	1	3,220	グリップ・ブレーキ ワイヤー・ねじ含む	1
5	ハンドルユニット(R)	PN-L7020105P	1	3,220	グリップ・ブレーキ ワイヤー・ねじ含む	1
6	グリップ(L)	PN-L7020106P	1	1,610		1
7	グリップ(R)	PN-L7020107P	1	1,610		1
8	ブレーキワイヤーセット	PN-L7020108P	1	1,380	L/R共通	2
9	樹脂リベットセット	PN-L7020109P	2	690	L/R共通	2
10	前フレーム上エンドキャップ	PN-L7020110P	1	1,380	L/R共通	2
11	トレイ受けエンドキャップ	PN-L7020111P	1	1,380	L/R共通	2
12	後ろフレーム上エンドキャップ	PN-L7020112P	1	1,730	L/R共通	2
13	フレーム連結ボルトセット	PN-L7020113P	1	1,150	L/R共通	2
14	折りたたみレバーセット	PN-L7020114P	1	1,730		1
15	締結バンド	PN-L7020115P	1	1,150		1
16	前輪フォークキャップ	PN-L7020116P	1	920	L/R共通	2
17	前フレーム下エンドキャップ	PN-L7020117P	1	1,610	L/R共通	2
18	後ろフレーム下エンドキャップ	PN-L7020118P	1	1,610	L/R共通	2
19	casterフォークセット	PN-L7020119P	1	3,450	L/R共通	2
20	前輪軸セット	PN-L7020120P	1	1,150	L/R共通	2
21	ブレーキパッドセット	PN-L7020121P	1	1,380	L/R共通	2
22	後輪軸セット	PN-L7020122P	1	1,380	L/R共通	2
23	車輪	PN-L7020123P	1	2,300	前・後共通	4
24	Panasonic ロゴラベル	PN-L7020191P	1	690		1
25	モノロゴラベル	PN-L7020192P	1	580		1
26	ブレーキレバーラベル(L)	PN-L7020193P	1	690		1
27	ブレーキレバーラベル(R)	PN-L7020194P	1	690		1
28	指はさみ注意ラベル	PN-L7020195P	1	690	L/R共通	2
29	外装箱	PN-L7020196P	1	3,450		1
30	補修用塗料(タッチペン)	PN-L7020197P	1	4,030		—
31	補修用塗料(スプレー)	PN-L7020198P	1	3,450		—

※修理のみ対応

32	ナッター	PN-L7020150P	1	150	技術料、送料は別途 いただきます	1
----	------	--------------	---	-----	---------------------	---

使用工具・道具一覧

各ページでは作業に必要な工具・道具をアイコンで示しています。
あらかじめ準備のうえ、分解・組み立てを行ってください。



スパナ

8mm、10mm、13mm、
19mm



六角レンチ

3mm、4mm、5mm、6mm



ソケットレンチ

19mm



E リングプライヤー



プラスドライバー



ペンチ



マイナスドライバー



柔らかい布



手袋



無水エタノール



プラスチックハンマー



カッターナイフ

分解・組み立て方法

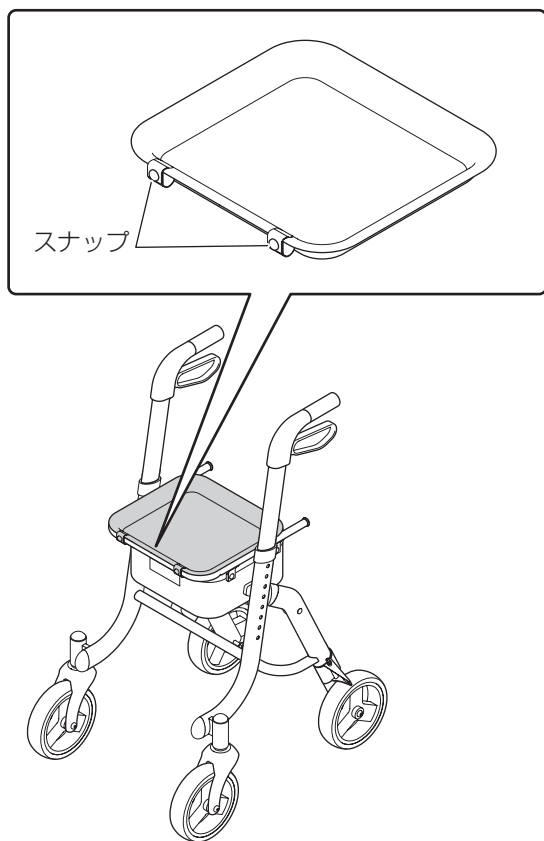
もくじ

トレイの交換	8
バスケットの交換	8
グリップの交換	9
前輪の交換	10
後輪の交換	11
ハンドルユニットの交換	12
ブレーキワイヤーの交換	13
ブレーキパッドセットの交換	14
前輪フォークの交換	15
前輪フォークキャップの交換	15
前フレーム上エンドキャップの交換	16
前フレーム下エンドキャップの交換	16
トレイ受けエンドキャップの交換	17
後ろフレーム上エンドキャップの交換	17
後ろフレーム下エンドキャップの交換	18
折りたたみレバーの交換	18
フレーム連結ボルトセットの交換	19
締結バンドの交換	19

分解・組み立て方法

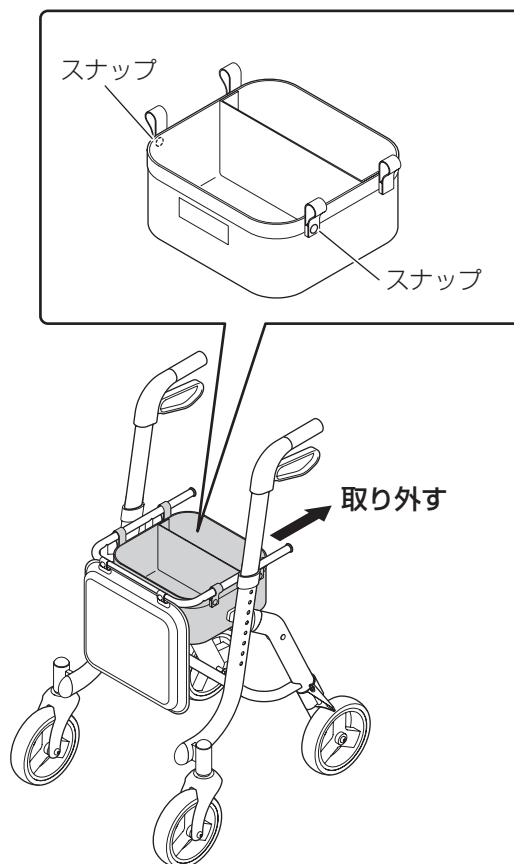
トレイの交換

- ① スナップを外してトレイを取り外す
- ② 交換部品を逆の手順で取り付ける



バスケットの交換

- ① スナップを外してバスケットを取り外す
- ② スナップのないリングをフレーム受けから外す
- ③ 交換部品を逆の手順で取り付ける



分解・組み立て方法

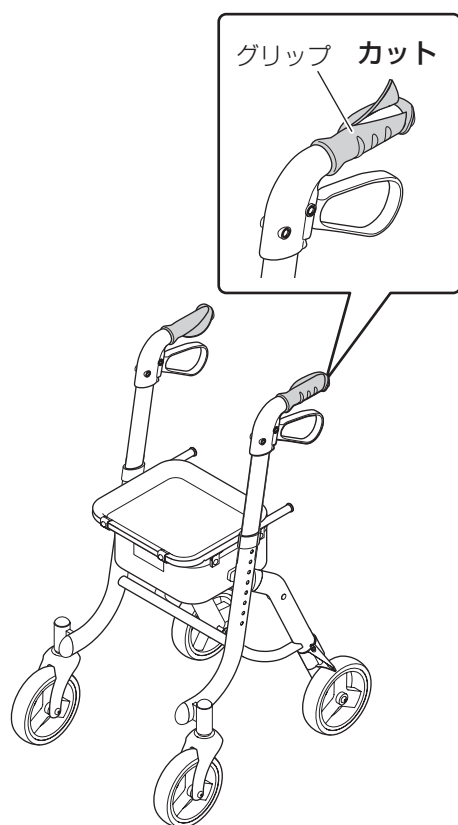
グリップの交換

使用工具



カッターナイフ 柔らかい布 無水エタノール プラスチックハンマー

① グリップをカットして取り外す



② 新しいグリップの内側に無水エタノールを少量塗布する

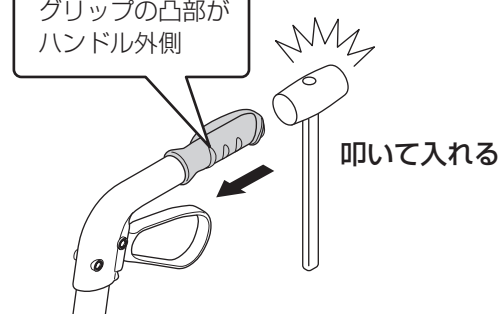
塗布には柔らかい布や筆などを使用してください。



③ グリップをハンドルフレームに差し込み、プラスチックハンマーで叩いて入れる

向きに注意

グリップの凸部が
ハンドル外側



分解・組み立て方法

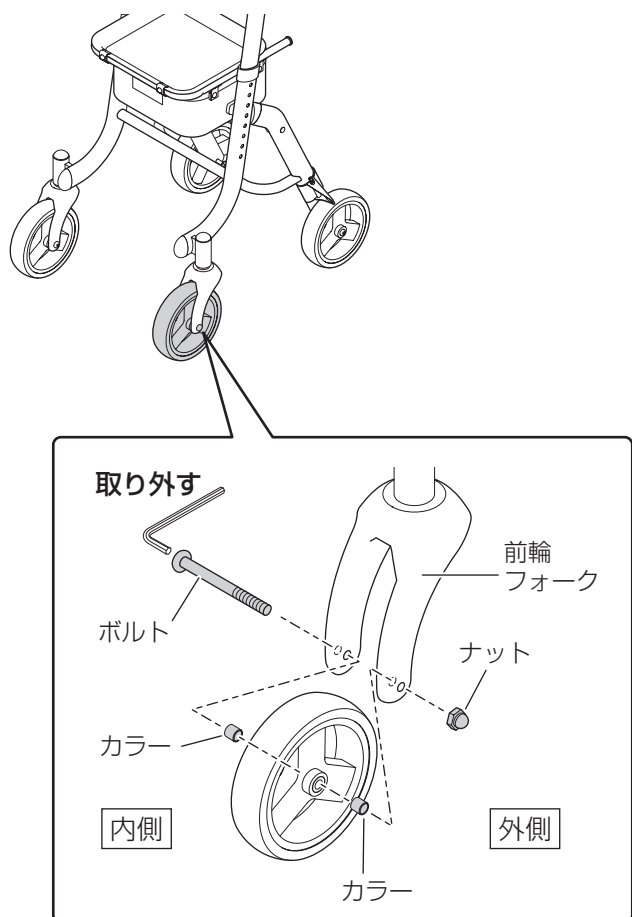
前輪の交換

交換手順は左右共通です。

使用工具



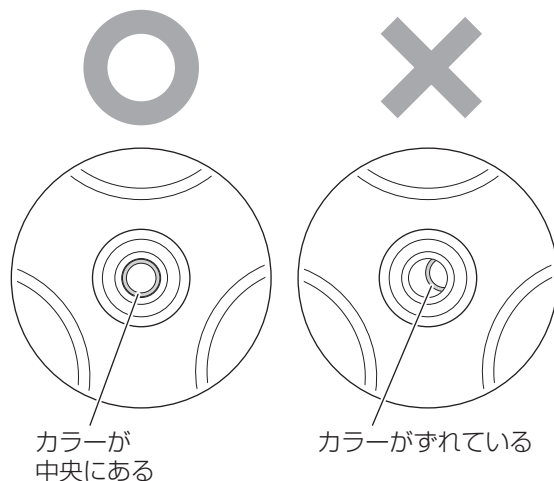
① ボルト(1 か所)を外して、前輪を取り外す



② 交換部品を逆の手順で取り付ける ナットは車輪の外側

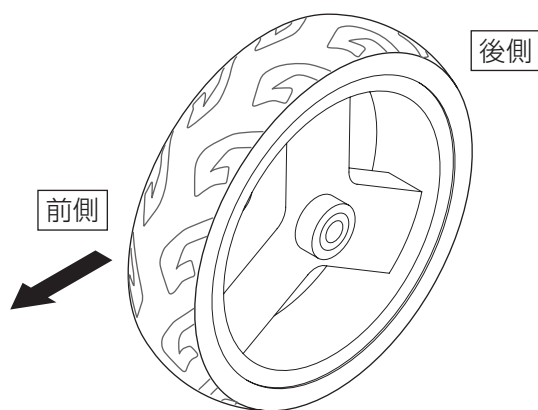
組み立てのポイント

ベアリングの中にカラーが入っています。
カラーの位置を合わせてボルトを通してください。



向きに注意

車輪には向きがあります。
確認して取り付けてください。



分解・組み立て方法

後輪の交換

交換手順は左右共通です。

使用工具



13mm

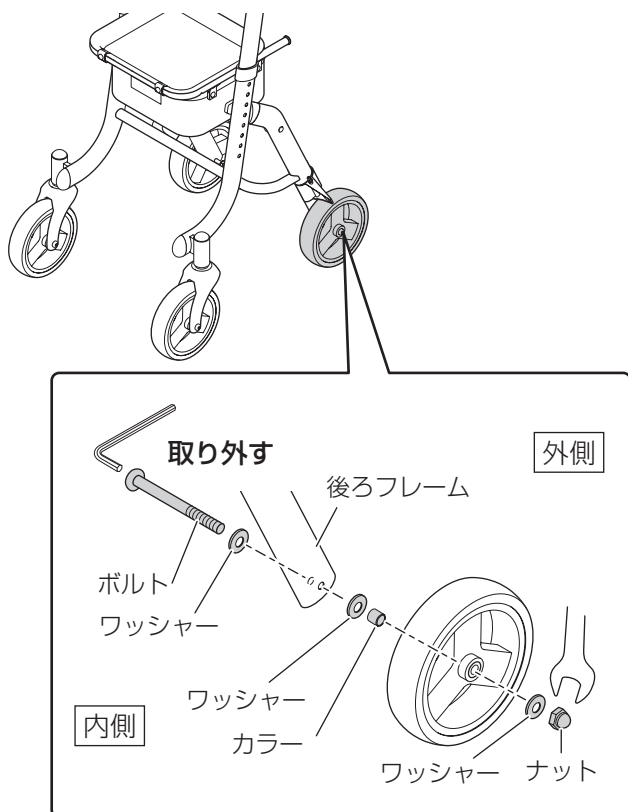
スパナ



5mm

六角レンチ

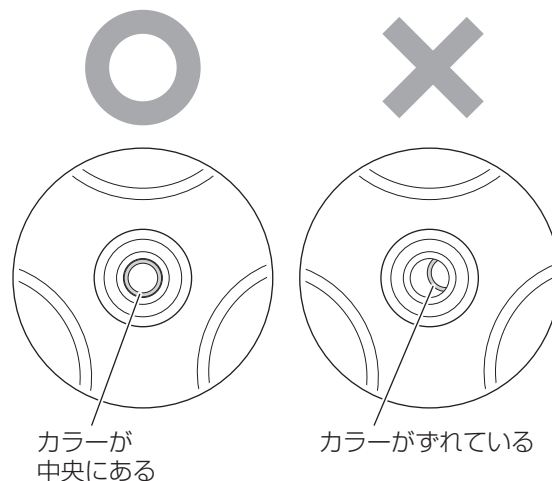
① ボルト(1 か所)を外して、後輪を取り外す



② 交換部品を逆の手順で取り付ける ナットは車輪の外側

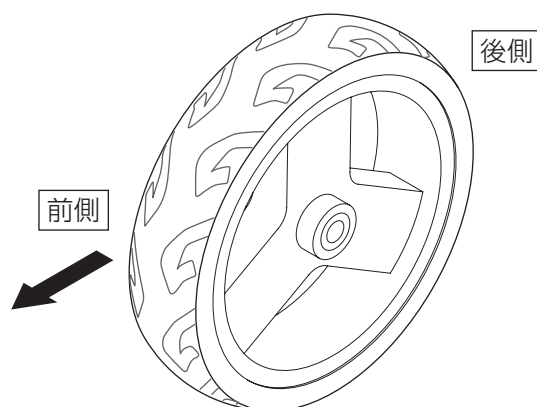
組み立てのポイント

後輪にはベアリングがセットされています。
ベアリングが外れていないことを確認してから取り付けてください。



向きに注意

車輪には向きがあります。
確認して取り付けてください。



分解・組み立て方法

ハンドルユニットの交換

交換手順は左右共通です。

使用工具



ペンチ



スパナ

8mm

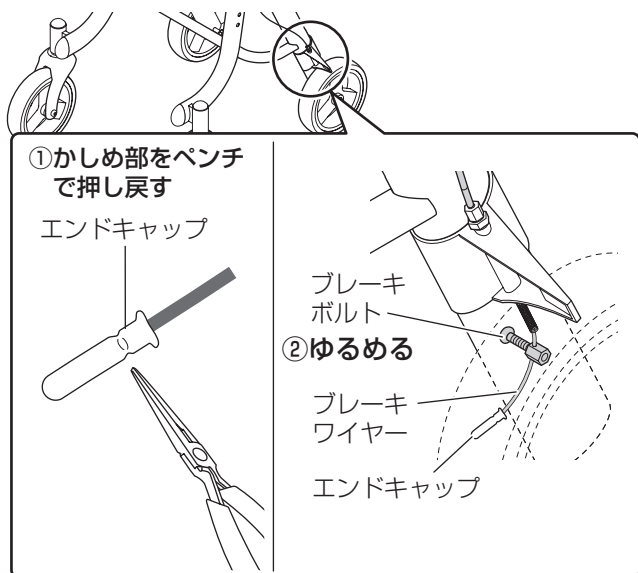


3mm

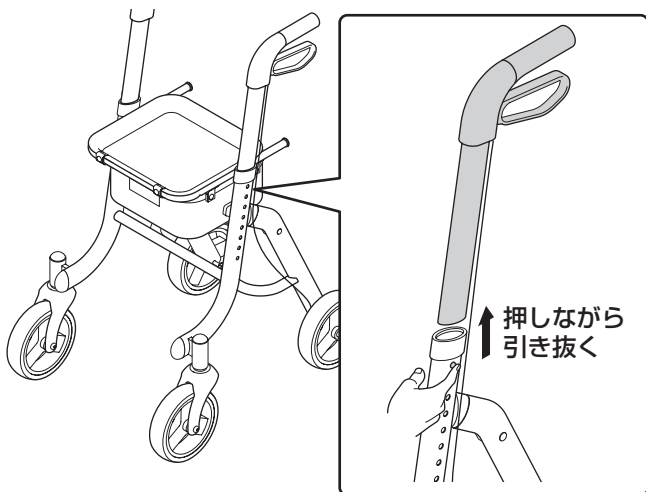
六角レンチ

① ブレーキワイヤーの先端のエンドキャップを取り外す

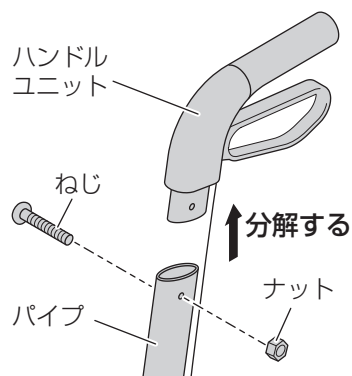
② ブレーキボルトをゆるめてブレーキワイヤーを取り外す



③ 高さ調節ボタンを押してハンドルユニットを取り外す



④ ねじを外してハンドルユニットを分解する



⑤ 交換部品を逆の手順で取り付ける
※パイプは交換部品に含まれていません。
現状の部品を使用してください。

組み立てのポイント

ブレーキワイヤーをナットの穴に通してから、ボルトを締めてください。
先にボルトを締めると穴にブレーキワイヤーが通りません。
ワイヤーがほつれないように取り扱いに注意してください。



必ずブレーキの利きを確認

ブレーキワイヤーの長さ、ブレーキの利きを調整してください。(20 ページ参照)

分解・組み立て方法

ブレーキワイヤーの交換

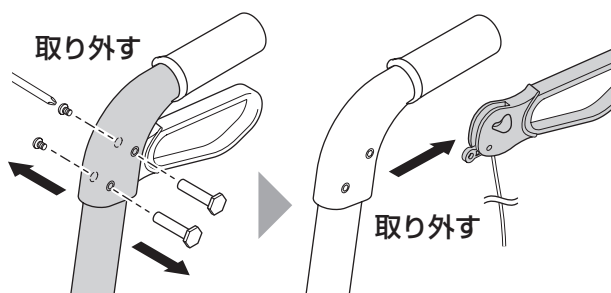
交換手順は左右共通です。

使用工具

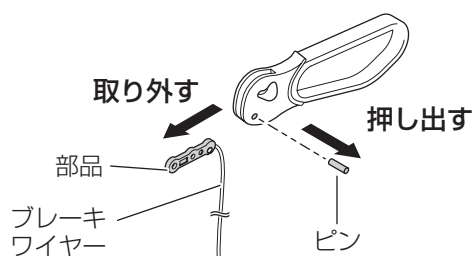


プラスドライバー

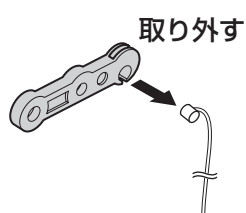
- ① ハンドルユニットを取り外す
(12 ページ参照)
- ② ハンドルユニットのねじ (2 か所) を外し、
ブレーキレバーを取り外す



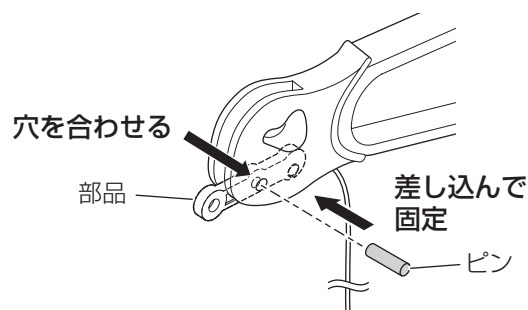
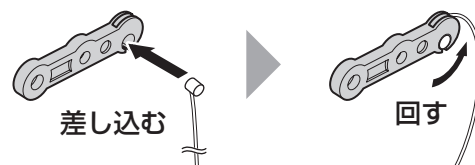
- ③ ブレーキレバーのピン (1 か所) を押し出し、部品を取り外す



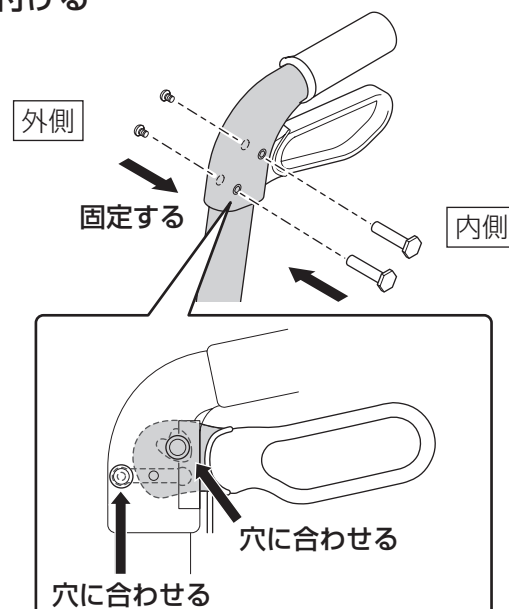
- ④ 部品からブレーキワイヤーを取り外す



- ⑤ 新しいブレーキワイヤーを部品に取り付け、
ブレーキレバーを組み立てる



- ⑥ ブレーキレバーをハンドルユニットに取り付ける



- ⑦ ハンドルユニットを本体に取り付ける
(12 ページ参照)

必ずブレーキの利きを確認

ブレーキワイヤーの長さ、ブレーキの利きを調整してください。(20 ページ参照)

分解・組み立て方法

ブレーキパッドセットの交換

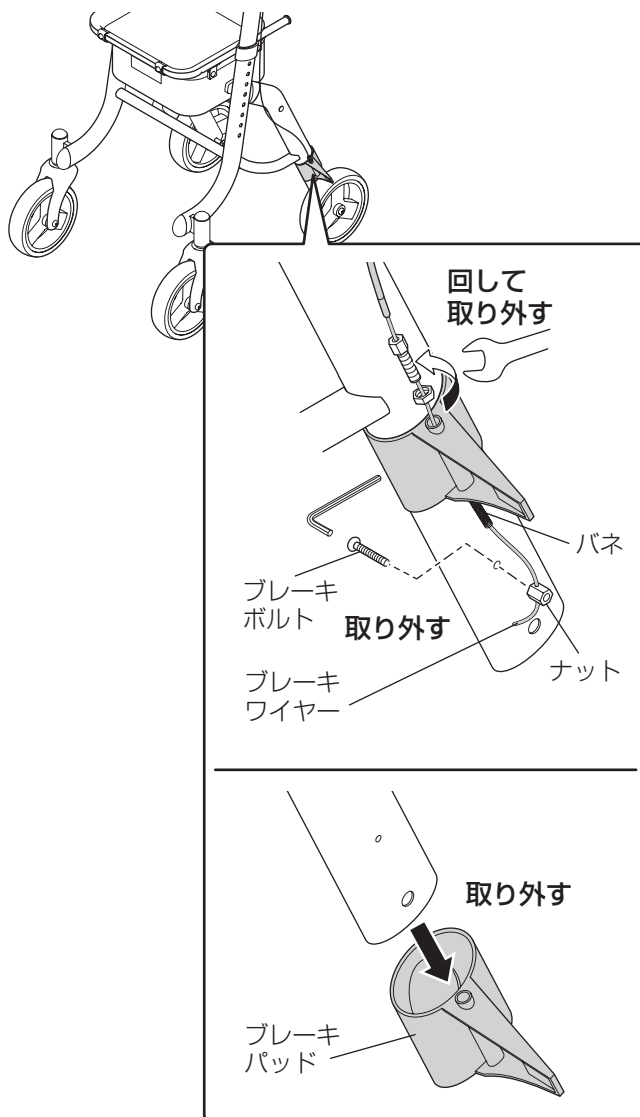
交換手順は左右共通です。

使用工具



- ① 後輪を取り外す
(11 ページ参照)
- ② 後ろフレーム下エンドキャップを取り外す
(18 ページ参照)
- ③ ブレーキワイヤーを取り外す
(12 ページ参照)

- ④ ブレーキボルト・ナットを取り外す
- ⑤ ブレーキパッドを取り外す



- ⑥ 交換部品を逆の手順で取り付ける

必ずブレーキの利きを確認

ブレーキワイヤーの長さ、ブレーキの利きを調整してください。(20 ページ参照)

分解・組み立て方法

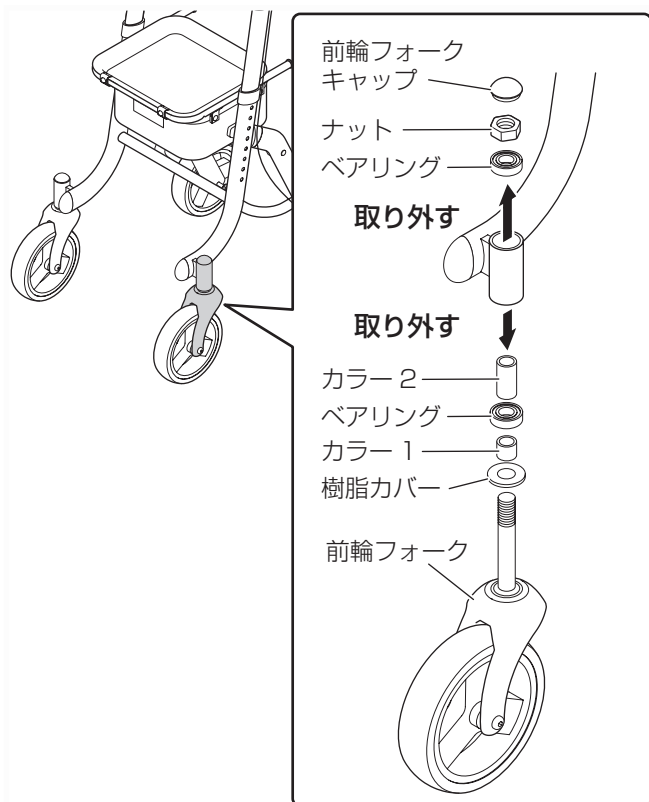
前輪フォークの交換

交換手順は左右共通です。

使用工具



- ① マイナスドライバーとペンチで前輪フォークキャップを取り外す
- ② ナット(1 か所)を外し、各部品を取り外す



- ③ 前輪フォークから車輪を取り外す (10 ページ参照)
- ④ 交換部品を逆の手順で取り付ける

組み立てのポイント

フレーム本体にはベアリングがセットされています。
ベアリングが外れていないことを確認してから取り付けてください。

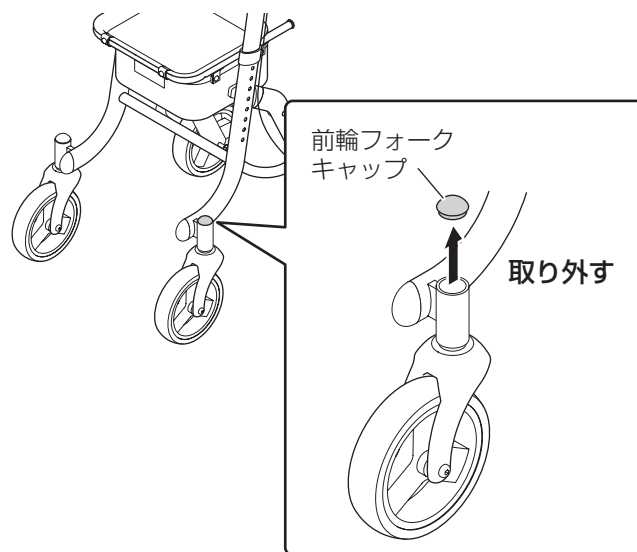
前輪フォークキャップの交換

交換手順は左右共通です。

使用工具



- ① マイナスドライバーとペンチで前輪フォークキャップを取り外す
- ② 交換部品を逆の手順で取り付ける
プラスチックハンマーを使用してください。



分解・組み立て方法

前フレーム上エンドキャップの交換

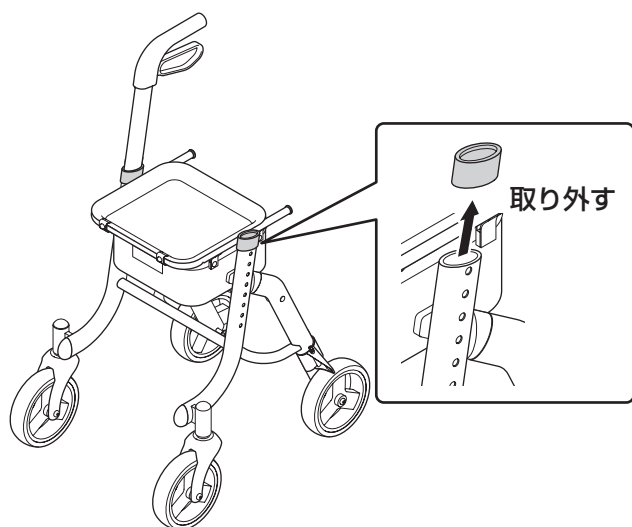
交換手順は前後・左右共通です。

使用工具



プラスチックハンマー

- ① ハンドルユニットを取り外す（12 ページ参照）
- ② 前フレーム上エンドキャップを取り外す
- ③ 交換部品を逆の手順で取り付ける
プラスチックハンマーを使用してください。



前フレーム下エンドキャップの交換

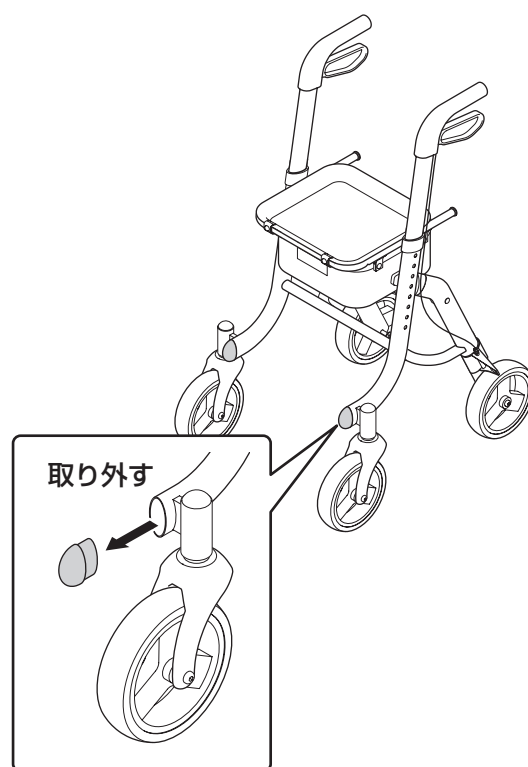
交換手順は前後・左右共通です。

使用工具



プラスチックハンマー

- ① 前フレーム下エンドキャップを取り外す
- ② 交換部品を逆の手順で取り付ける
プラスチックハンマーを使用してください。



分解・組み立て方法

トレイ受けエンドキャップの交換

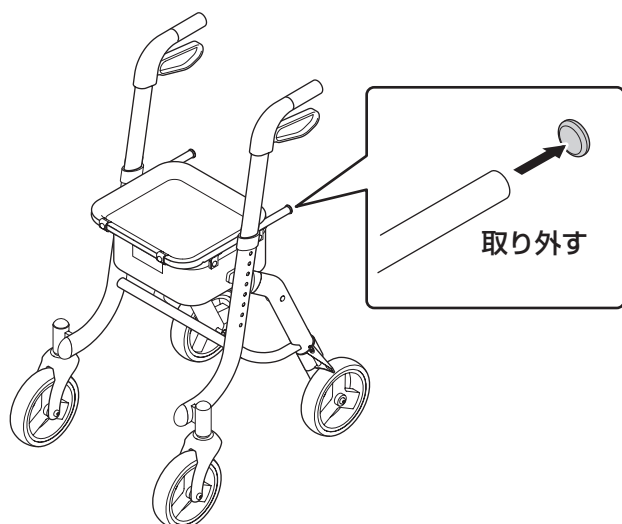
交換手順は左右共通です。

使用工具



プラスチックハンマー

- ① トレイ受けエンドキャップを取り外す
- ② 交換部品を逆の手順で取り付ける
プラスチックハンマーを使用してください。



後ろフレーム上エンドキャップの交換

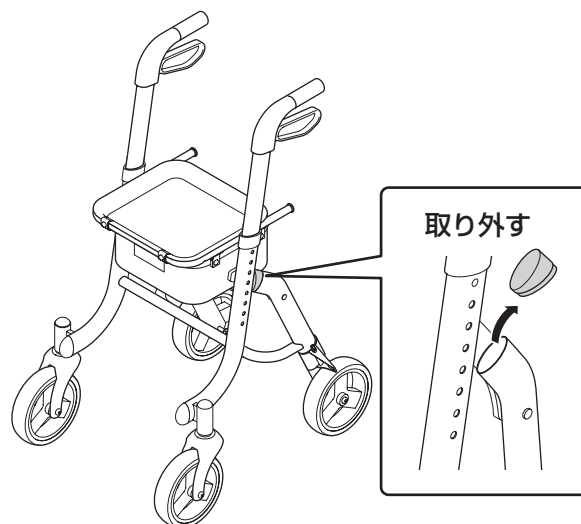
交換手順は左右共通です。

使用工具



プラスチックハンマー

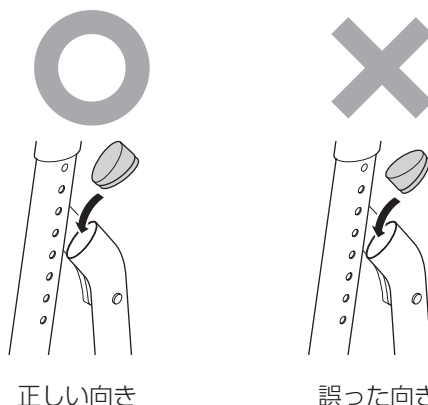
- ① 後ろフレーム上エンドキャップを取り外す



- ② 交換部品を逆の手順で取り付ける
プラスチックハンマーを使用してください。

向きに注意

向きを間違えると本体の折りたたみができません。



分解・組み立て方法

後ろフレーム下エンドキャップの交換

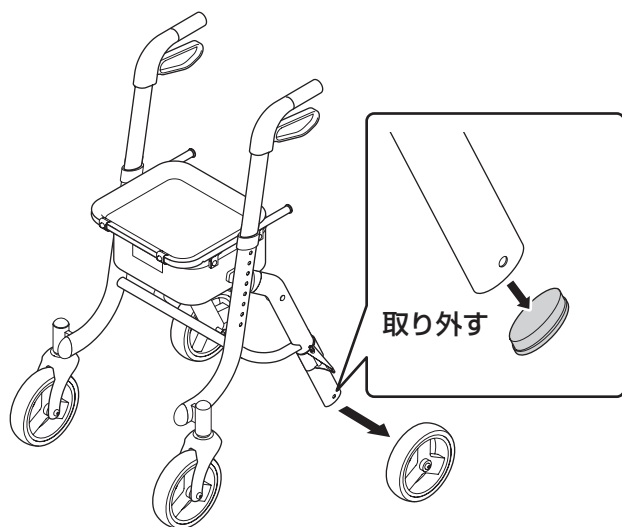
交換手順は左右共通です。

使用工具



プラスチックハンマー

- ① 後輪を取り外す
(10 ページ参照)
- ② 後ろフレーム下エンドキャップを取り外す
- ③ 交換部品を逆の手順で取り付ける
プラスチックハンマーを使用してください。



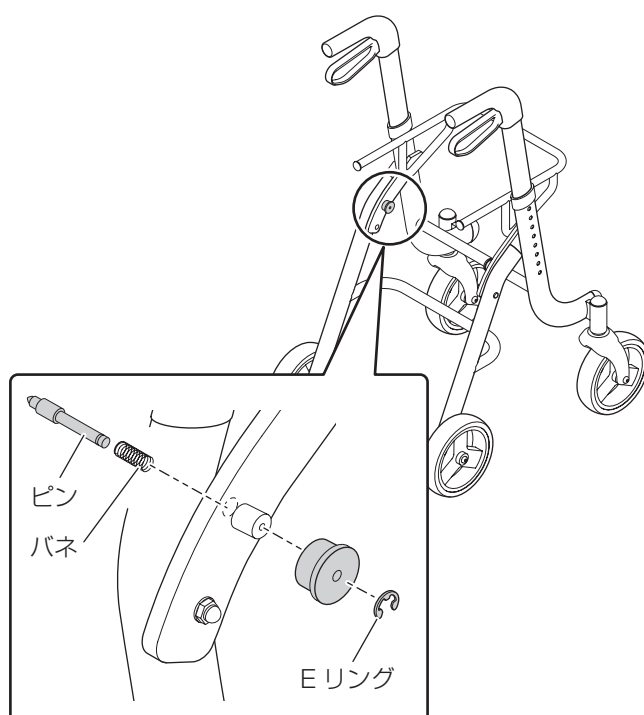
折りたたみレバーの交換

使用工具



Eリングプライヤー

- ① Eリングを取り外す
取り外したEリングは弱くなります。再利用しないでください。
- ② バネ、ピンを取り外す
折りたたみの状態で作業してください。作業しにくい場合は、後ろフレームを取り外してください。(19 ページ右段参照)



- ③ 交換部品を逆の手順で取り付ける

分解・組み立て方法

フレーム連結ボルトセットの交換

使用工具



10mm

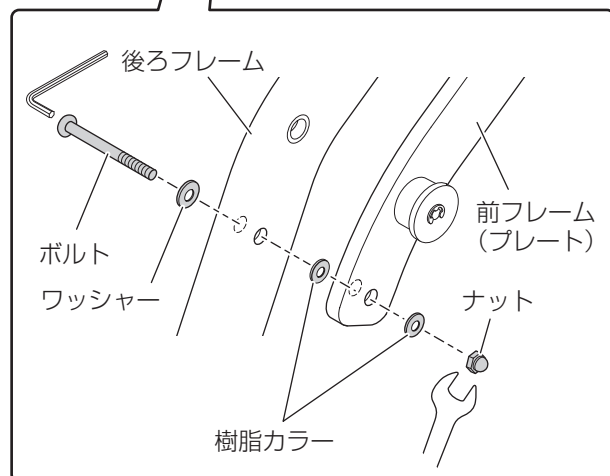
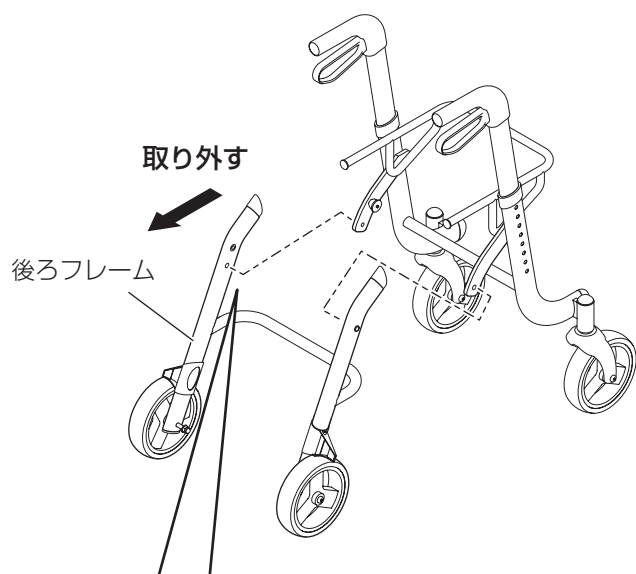
スパナ



4mm

六角レンチ

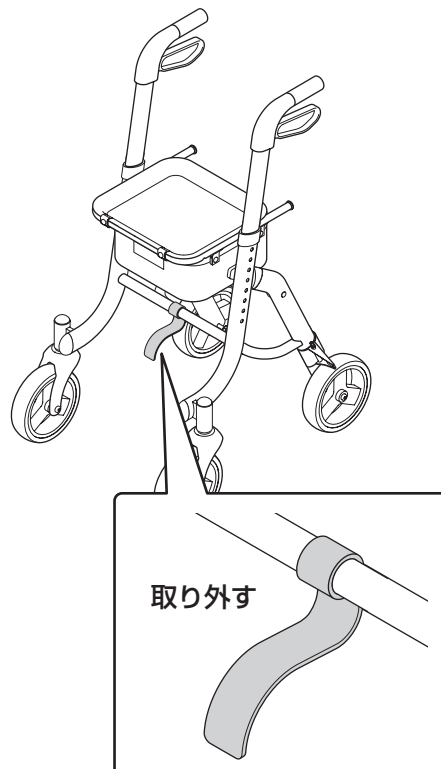
- ① 後ろフレームと前フレームを連結している、ボルト(左右2か所)を取り外す
- ② 交換部品を逆の手順で取り付ける



※右側は左右対称です。

締結バンドの交換

- ① 締結バンドを取り外す
- ② 交換部品を逆の手順で取り付ける



ブレーキの調整方法

ブレーキワイヤーを交換した後などは、必ず左右のブレーキワイヤーの長さを調整してください。
※2人で作業してください。

ブレーキワイヤーの長さ調整

使用工具



ペンチ



スパナ

8mm
10mm



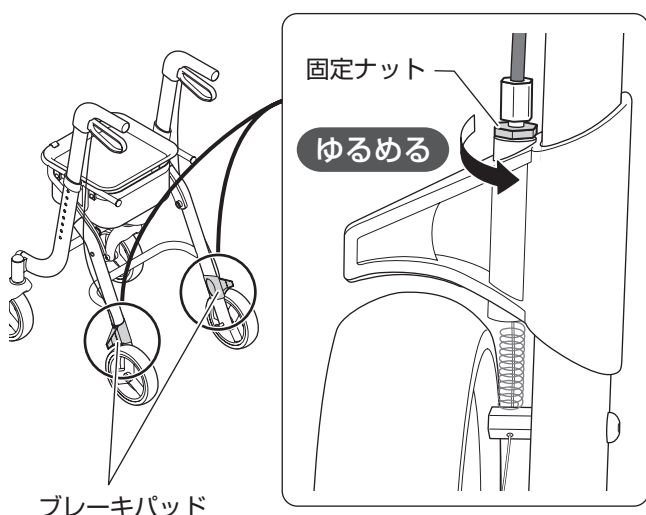
六角レンチ

3mm

① ハンドル高さを最低にする。

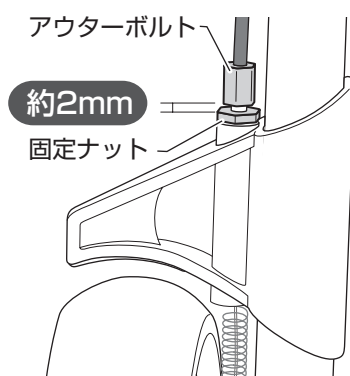
② 駐車ブレーキを解除する。

③ 固定ナットをゆるめる。
10mm のスパナを使用。

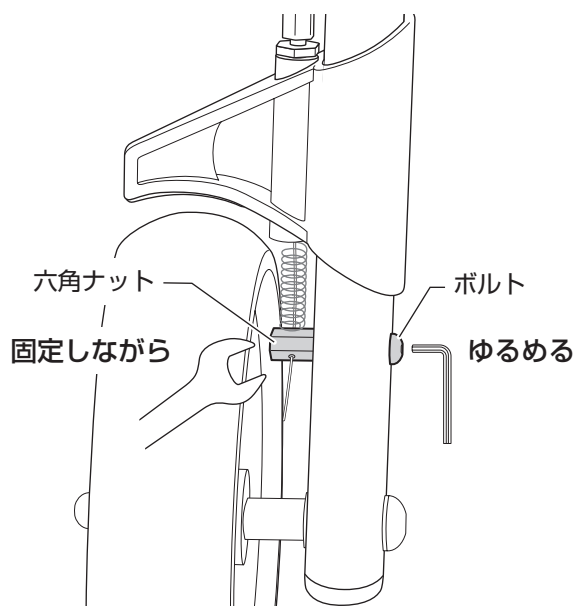


④ アウターボルトを回し、アウターボルトと固定ナットのすき間が約 2mm になるように調整する。
8mm のスパナを使用。

⑤ 固定ナットを元どおりに締める。

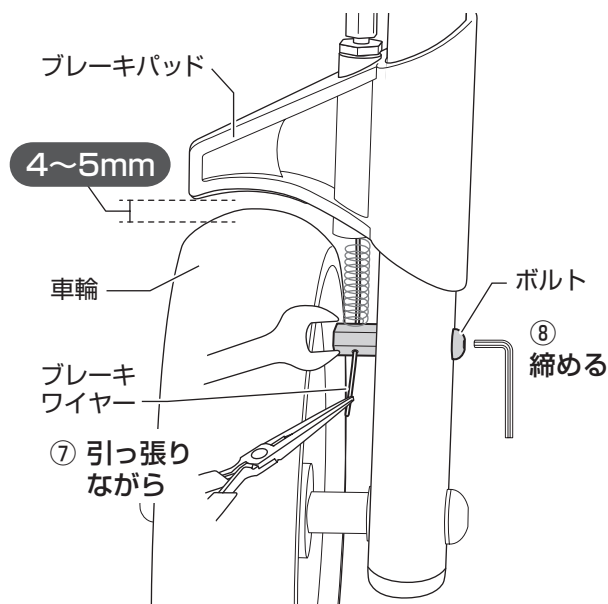


⑥ 六角ナットを 8mm のスパナで固定しながら、ボルトを 3mm の六角レンチでゆるめる。



⑦ 1 人がブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張りながら、車輪とブレーキパットのすき間を 4 ～ 5mm に調整する。

⑧ ⑦の状態のまま、もう 1 人がボルトを締めて固定する。



ブレーキの調整方法

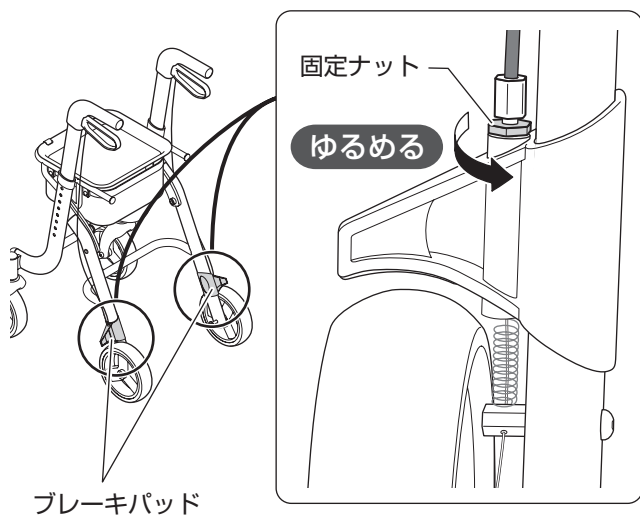
ハンドルの高さを変えた後は、必ずブレーキの利きを確認し必要な場合は調整してください。
ハンドルの高さが高いほど、ブレーキの利きが弱くなります。

ブレーキの利き調整

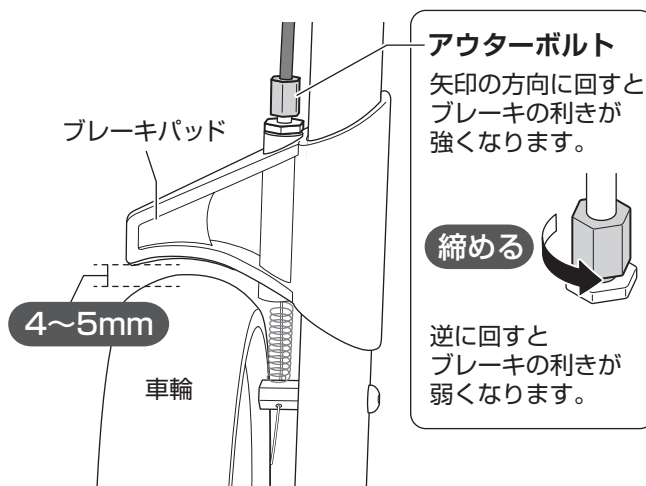
使用工具



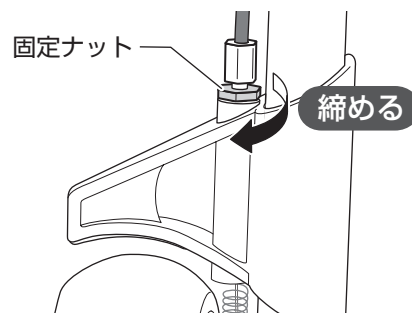
- ① 駐車ブレーキを解除する
- ② 固定ナットをゆるめる
(10mm のスパナを使用)



- ③ アウターボルトを回して、ブレーキの利きを調整する
(8mm のスパナを使用)
車輪とブレーキパッドのすき間が 4 ～ 5mm になるよう調整してください。



- ④ 固定ナットを元どおりに締める
(10mm のスパナを使用)



修理完了検査項目

No.	確認項目	対応	チェック
1	各固定ねじの緩みがないか。	各固定ねじを締め付けてください。	
2	各部品の欠損、ねじ頭にシャープエッジがないか。	新しい部品、ねじに交換してください。	
3	車輪、ハンドル部にがたつきがないか。	各固定ねじを締め付けるか、床面など設置環境を再度確認してください。	
4	ハンドルを 8 段階に高さ調節・固定できるか。	必要に応じて部品を交換してください。	
5	ラベル類がめくれなく貼り付いているか。	新しいラベルに交換してください。	
6	車輪が 4 輪ともがたつきなく地面に接地しているか。	部品が正しく取り付けられているか確認してください。	
7	各部引っ掛かりなく折りたたむことができるか。	部品が正しく取り付けられているか確認してください。	
8	ブレーキおよび駐車ブレーキが正常に作動するか。	固定ボルトとアウターボルトのすき間、車輪とブレーキパッドのすき間を確認してください。	